



摂津市立摂津小学校  
学校だより

令和4年度(2022年度)3月臨時号

〒566-0022  
摂津市三島3-14-60  
TEL 6381-8562  
FAX 6381-8548



学校教育目標

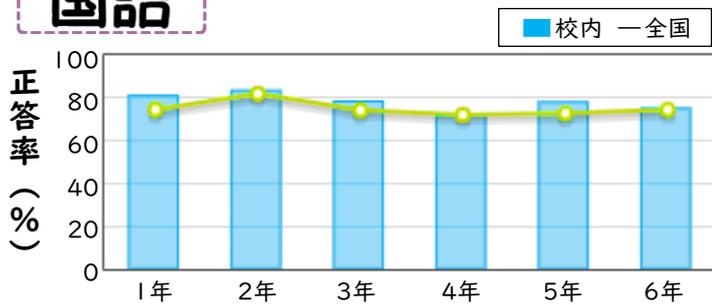
よく遊び  
よく考える  
摂津っ子の育成

## 令和4年度 摂津市学力定着度調査の結果を生かした取組みについて

摂津小学校 学力向上・研究推進委員会

令和4年12月に行われた摂津市学力定着度調査について、本校の結果概要がまとめられました。成果と課題が顕著に表れた内容とともに、結果分析をふまえ、どのように学習指導を改善していくのかについてご報告いたします。

### 国語



		1年	2年	3年	4年	5年	6年
正答率 (%)	校内	81.1	83.5	78.4	71.4	78.0	75.1
	自治体	71.4	81.4	72.8	71.1	72.7	68.7
	全国	74.6	82.0	74.4	72.0	72.7	74.5



### 「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域で、大きく全国平均を上回りました。

摂津小学校では、物語の好きなお話や好きな理由を友だちに説明するために何度も文章を読み返したり、対話によって読み深めたりすることに取り組んできました。子どもたちが、目的をもって読んだり、話し合ったりする姿を楽しみ姿が見られるようになり、その成果が、学力定着度調査の結果にも表れました。



### 「書くこと」「言葉のきまり」に課題が見られました。



授業では、友だちとの対話を生かして、積極的に文章を書く姿が見られます。一方で、指定された長さで書いたり、段落に分けて書いたりすることに課題があることが明らかになりました。

また、漢字を読む力は全国平均を大きく上回っている一方で、主語や述語などの言葉のきまりの理解に課題が見られました。

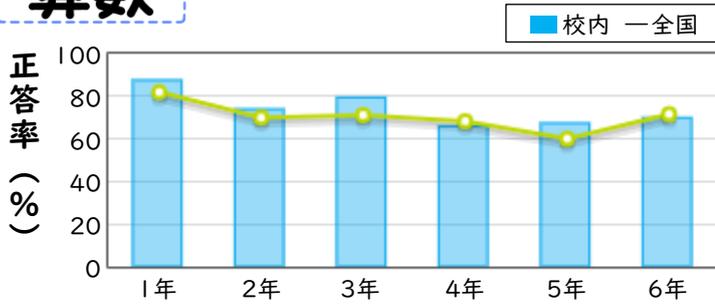
### 【今後の対策】

『…が書けたら○』『…できたら◎』などと目標を具体的に立て、どのような文章を書けるようになることをめざすのかイメージしながら学習に取り組むようにします。

1人1人の書けない理由を把握し、個に応じて支援できるようにします。

「言葉のきまり」の理解を確かなものにするために、繰り返し復習に取り組む機会を設けます。

# 算数



		1年	2年	3年	4年	5年	6年
正答率 (%)	校内	87.6	74.0	79.5	66.0	67.4	69.9
	自治体	82.0	70.9	71.2	65.3	60.3	65.6
	全国	82.0	70.0	71.1	68.3	60.0	71.6

計算の仕方や作図の仕方などを説明することに課題が見られました。



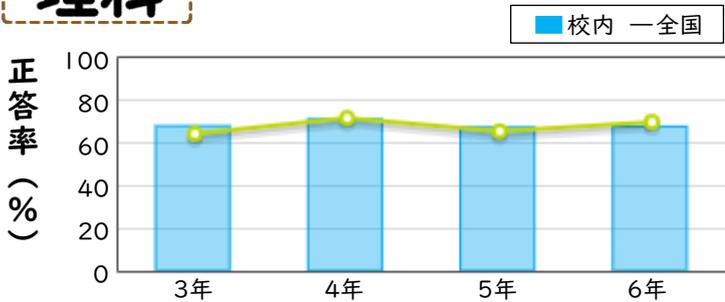
1年生、2年生、3年生、5年生は、全ての領域で全国平均を上回りました。しかし、授業で学習してから時間が経った内容の誤答が目立つ結果となりました。また、2年生、4年生では、計算の仕方や作図の仕方の意味を問う問題の正答率が全国平均を下回る結果となりました。

## 【今後の対策】

具体物を操作したり、問題場面を図に表したりしながら、数や式、図形への理解を深め、理解したことを自分の言葉で説明する学習に取り組みます。

定期的に復習を行う機会を設けられるように、宿題の内容を工夫します。

# 理科



		3年	4年	5年	6年
正答率 (%)	校内	68.1	71.3	67.5	67.9
	自治体	59.3	63.0	58.3	62.6
	全国	64.4	71.8	65.6	70.0

学習したことを活用して考える内容は、全国平均を上回りました。



知識を問う問題に課題が見られました。



全ての学年で、学習したことを活用する問題の正答率が全国平均を上回り、問題文を読み取り、思考する力が身に付いていることがわかります。一方で、授業で学習してから時間が経過した内容は、全国平均を下回る結果となりました。特に、実験道具などの使用の仕方など、実習で経験したことを問う内容に課題が見られました。

## 【今後の対策】

実験や観察をふりかえり、自分の言葉で学習のまとめをすることに引き続き取り組み、学習内容の定着を図ります。

授業で身に付けた知識を復習する機会を設けるとともに、自主学習で国語や算数以外の学習に取り組むことができるようにします。

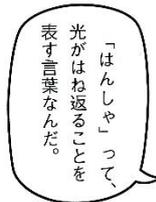
## 家庭学習のポイント

- 「苦手を克服したい」「ミスを減らしたい」「もっと調べてみたい」と目標をもって学習することで、家庭学習の効果をさらに高めることができます。
- タブレットを使い、楽しみながらドリル学習などに取り組むことができます。社会や理科のドリル学習は、忘れてしまいうやすい知識の定着を図ることに役立ちます。
- 漢字や計算は、紙に書いて練習することが効果的です。また、漢字学習は、漢字を使って文作りをすることで、漢字の意味や音読み・訓読みを理解でき、漢字を使う力を高めることができます。
- 「失敗は成功のもと！」多くの問題を解くよりも、確実に間違いを直すことが大切です。間違いを直さずに持ち帰ったノートやプリントがあった場合には、そのままにせず間違い直しに取り組むようにお声がけください。また、同じ間違いを繰り返さないために、自主学習で間違った問題を改めてノートに書き直すことも効果的です。

下のイラストは、3年生国語「伝わる言葉で表そう」の学習で紹介されている、使える言葉を増やし、適切な言葉を選ぶための方法です。読書や辞書引き、家族での会話が、子どもたちの語彙量を増やすのに効果的です。そして、子どもたちの国語力を支える土台となります。



物語を読んでいる



辞典や本などで調べていて



友だちの文章を手がかりに